

No.18 2025年3月30日

受難節第四主日礼拝
 説教『一粒の麦は死んだのか?』
 山根真三師
 司会 高橋圭子さん
 奏楽 山根由美子さん
 招詞 IIコリント人の手紙1章3~7節
 主の祈 (564)
 讚詠 5 4 6
 交読詩編 詩 8 4 編
 祈禱
 讚美歌 21 - 4 0 7
 使徒信條 (566)
 聖書 ヨハネ福音書12章20~27節
 説教 (口語訳161頁、新共同訳192頁)

『一粒の麦は死んだのか?』

祈禱
 讚美歌 3 3 8
 献金
 感謝
 報告
 頌祝 5 4 3
 後奏

次週の礼拝(受難節第五主日礼拝)
 説教『仕えられるよりは仕える人になりなさい』
 マルコによる福音書10章35節~45節
 招詞ヘブル書5章7~9節/交読詩篇130編
 讚美歌 546、21-394、305、544

礼拝当番
 今週 30日 司会 高橋さん 献金 根角さん
 次週 6日 司会 山根さん 献金 剛家さん
 会堂清掃奉仕 4月4日(金)
 午後4時~ 有志

本日の集会

★教会学校 午前9時45分~
 ★出合いのひととき 礼拝後~
 それぞれの思いを語り合しましょう。
 ★本日の礼拝は山根牧師隠退記念礼拝です。
 57年間休暇も取らず頑張ってくださいました。その間教団問題等を担われる一方教誨師として二人の死刑囚の友を信仰の仲間として受容された。

今週の集会/スケジュール

●めぐみ幼稚園2025年度始業礼拝 4月1日(火)10:30~
 新年度の歩みは根源的に違った歩みになります。神様の導きとそこをご意志を覚えて礼拝を守り、新しい歩みについて話し合います。覚えてお祈り下さい。また皆さまのご協力をお願いします。

次週以降のスケジュール等

★広島西部教会合同墓碑碑式 4月6日(日)
 教会の合同墓が完成しました。感謝です。
 ●めぐみ幼稚園2025年度始園式 4月8日(火)10:30~
 少ない子ども達で幼稚園の活動が始まります。豊かな歩みが出来るよう覚えてお祈り下さい。
 ★4月定例教会役員会 4月13日(日)礼拝後
 教務・教勢報告、会計報告、教会総会について
 ★イースター礼拝は4月20日(日)です。
 説教「振り向いたマリア」吉丸伝道師
 ヨハネ福音書20章11節~18節(聖餐式執行)

●レコードコンサート 4月27日(日)13:00~15:30
 モーツァルト 交響曲第40番ト短調Kv.550
 ベートーヴェン 交響曲第6番ヘ長調作品68田園

公 告

2025年度広島西部教会定期教会総会
 日時:4月20日(日)午後1時~3時
 議題:教務・教勢報告、決算・予算、役員等選挙

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	1	7	8

◇今週の説教要旨(受難節第四主日礼拝)
 『一粒の麦は死んだのか?』ヨハネ伝12章20~27節
 冒頭にお断りします。どうしても奏楽者の都合がつかず、今日の礼拝は自動演奏機を使用させていただきました。週報の奏楽者として伴侶の名前を記させていただきました。まさに隠退記念に相応しいと考えた。あなたなしに私の牧師として活動はあり得なかったと。
 ガザの悲劇をどう理解できようか。イスラエルの民族意識の排他性を少しは理解できる。そのような人々の中で十字架にかけられたイエスが救い主だと告白し、生きることの重さと豊かさを覚える。聖書はギリシア人の来訪を報告。ヨハネの教会が福音を拡げていこうとする意図として理解。そこにイエスはご自身が人の子が栄光を受ける時について、即ち一粒の麦についての教えを語る。ご自身の来るべき十字架の死について。一粒の麦が地に落ちて死ぬ。由美子さんの死に出会ってその悲しさの深さ、重さを経験した今、イエスが語る一粒の麦が地に落ちて死ぬ出来事。それはヨハネの教会にとって絶望そのものと表現して良いだろうと思える。その絶望を超えて彼らは復活のイエスに出会った。そこには豊かな実りがあった。確かに彼らは底知れぬ絶望にあっていて。そのような彼らを絶望から立ち上がらせ、その喜びに生きることが出来たのは復活のイエスとの出会いだった。それらのことをヨハネはイエスの言葉として表した。一粒の麦が地に落ちて死ななければ…と。さらにイエスは信じる者に語り続けた。イエスのために自分の命を捨てる者はそれを得るだろうと。そこには信仰者が生きなければならない厳しい厳しい道が予想されていたのだろう。しかしそうであったとしても、その道はとても豊かで祝福に満ちた道、永遠の命への道なのだと。ヨハネの教会の方々が歩んでいた道が示される。それは私が広島西部教会と共に歩んできた57年の道だったのだろうか?父であり母である神はその道を受け容れるのか